

平成30年度市民文化活動支援事業 採択一覧

申請者	事業の名称	分野	実施時期・場所等	趣旨・内容
合唱団そうなそ 代表 佐々木 優実	合唱団そうなそ第2回定期演奏会	音楽	日時:5月5日(土・祝) 場所:防府市地域交流センター[アスピラート] 集客見込:350人	「山口県の合唱シーンに新しい風を!」をモットーに、「選曲」と「パフォーマンス」の観点から多種多様な合唱活動に取り組んでいる。 本事業では、山口県初演の作品を多数含む、世界各国の無伴奏混声合唱曲を演奏予定。市民に新しい合唱文化を届ける場の創出を目指す。
明日を紡ぐ大地の会 代表 福島 光子	ふるさと文化共同発表会五周年記念事業 ・第5回女流芸術家発表交流会 ・第5回市民みんなの文化祭	音楽 演劇 舞踊	・第5回女流芸術家発表交流会 日時:6月3日(日)13:30~ 場所:ニューメディアプラザ山口 集客見込:230人 ・第5回市民みんなの文化祭 日時:11月25日(日) 場所:ニューメディアプラザ山口 集客見込:250人	山口市内で芸術活動している十数団体がジャンルを超えて参加し、春と秋に共同公演を開催する。 今回は、明治維新150年にちなみ吉田松陰を題材とした演目を上演するほか、合唱・日本舞踊・器楽演奏・朗読などの多彩なだしもので構成する。 故郷の文化水準の向上と、意欲あふれる文化活動の活性化を図る。
向田 美保・秀敏	ホスピタルアート事業	美術	日時:8月~平成31年3月の内3回 場所:菜香亭、病院・老人ホーム 集客見込:150名	山口市に溢れる自然の中にある光を身近な風景から感じてもらい、日々の生活の中で疲れてしまった人々の心を癒すため、絵画と写真の展示会を開催する。 また、閉鎖された施設の中でも芸術に触れることで笑顔・元気になる機会を提供したいとの思いから、病院や老人ホームでの開催を予定している。
日伊協会YOVe'ST山口 理事長 ロベルト・ピピリ	Paesi~記憶の糸~山口×ウンブリア(イタリア)	美術	日時:7月10日(火)~7月16日(月) 11:00~17:00 場所:クリエイティブ・スペース赤れんが 集客見込:800人	県内の若手写真家7名と中部イタリアのウンブリア州の写真家7名の合同写真展を開催する。 日本人とイタリア人の作品を一つの空間に展示することで、それぞれの世界観や感性の違いといった新しい発見を鑑賞者へもたらす。 また、イタリア人現代美術評論家による日伊の作品の違いや特徴解説のほか、写真家によるトークイベントも開催し、作品の理解を深める機会を創出する。
スタジオイマイチ 代表 大脇 理智	スタジオイマイチ10周年企画 対話の時間「10年後をソウゾウする」(トークイベント)	その他 舞踊	日時:4月~6月、10月~12月で毎月1回 計6回 場所:スタジオイマイチ 集客見込:180人	10年後に地域・社会・世の中がどう変化していくのか、どんな変化があればいいのか、各回講師を招き参加者と未来の姿を想像/創造する、対話の時間=トークイベントを開催。また、毎回まとめの時間としてダンスを創作する。 トークテーマは、10年後の食卓やAI、芸術とコミュニティについてなどを予定している。
都山流尺八 千鳥会 会長 福永 俊明	都山流尺八 千鳥会 第35回邦楽演奏会	音楽	日時:11月25日(日)9:00~17:00 場所:山口県教育会館ホール 集客見込:400人	吹奏に特別な技術を要する「尺八」は愛好者人口が減少傾向にあり、その現状を打破するべく、新たな邦楽への取組のきっかけになれば、との想いから本演奏会を企画。 会員だけでなく、市内の小・中・高・大学生にも多数出演いただき、地域ぐるみの演奏会を開催する。

平成30年度市民文化活動支援事業 採択一覧

申請者	事業の名称	分野	実施時期・場所等	趣旨・内容
特定非営利活動法人 山口現代芸術研究所(YICA) 会長 藤川 哲	山口アート・アーカイブ[YAA]2018 —YICA20周年記念冊子の刊行と ウェブ公開—	美術	日時:4月～平成31年3月の間で15回 場所:前町シマダ邸、山口市菜香亭、 山口情報芸術センター、など 集客見込:300人	山口アートアーカイブ[YAA]とは、平成27年度から三カ年かけて行ってきた複合事業で、山口の文化芸術活動の歴史を振り返るための記録資料の整理、ウェブサイトへの蓄積と公開、展覧会、シンポジウム、ワークショップ等から構成される。完成年にあたる本年は、上記イベントの他に記念冊子の刊行とウェブ公開を行い、山口の現代芸術の歴史を広く一般へ公開する。
仁光寺座 代表 中川 逸夫	仁光寺ふれあい祭り 錦秋公演『兄弟蔵—商人(あきんど)の道』	演劇	日時:9月22日(土)20:00～ 場所:仁光寺公会堂 集客見込:300人	地域のふれあいと絆を深めると同時に、農村文化振興の一助となるよう、地域住民が力を合わせ手作りの芝居を公演する。地域の子どもから大人までが参加し、それぞれの特技や技術を活かして大道具や小道具、台本を製作する。地域の人々へ、単なる娯楽ではなく質の高い演劇の提供を目指す。
山口野点じんじんチーム 代表 野村 真生	きむらとしろうじんじん 「野点」in 山口	美術 伝統芸 能 その他	日時:秋ごろ1回 場所:山口市内 集客見込:150人	移動式カフェと楽焼絵付けワークショップを行う旅回りのお茶会(「野点」)を開催。会場に集まった人たちが野点の時間や場を共有することで生まれる会話を通じ、新たな街の魅力を発見するなど、コミュニケーションを誘発する「場」を作り出すことを目的とする。 今回は市内の他団体などにも声をかけミニワークショップやブースの出展を依頼予定。協働しながら更なる盛り上がりを目指す。
甲原 定房	室内楽の演奏会	音楽	日時:6月22日(金) 場所:クリエイティブ・スペース赤れんが 集客見込:100人  日時:平成31年3月下旬 場所:山口県旧県議会議事堂(予定) 集客見込:200人	国内外で活躍中の新進・若手演奏家によるクラシック音楽の演奏会を開催し、その新鮮な演奏を広く市民に提供することを目的とする。 特に小規模な会場において至近距離での音楽鑑賞により、独特の迫力と臨場感あふれる演奏会となる事を目指す。 チェロとピアノの二重奏の演奏会を6月に、弦楽四重奏の演奏会を3月に開催予定。
MRD(マンゲースレコード) 代表 福田 英三	YAMAGUCHI music & dance 18	舞踏 音楽	日時:8月12日 場所:山口市内ホール 集客見込:120人	音楽、絵画、ダンス、パフォーマンス(舞踏演劇等)などが融合したトータルアートイベント。 様々な分野で活動するアーティストが一同に会することによる相互理解や情報交換、新たな才能の開花を目指す。 また、今後も同様の文化活動が恒久的に行われるよう、希望者にイベント制作過程を準備段階から当日まで経験できるワークショップも同時開催する。

## 平成30年度市民文化活動支援事業 採択一覧

申請者	事業の名称	分野	実施時期・場所等	趣旨・内容
Do a front 代表 蔵田 章子	本当に必要なアートプロジェクトとは何か？地域資源の再活用と地域に開かれた場の作り方を考える	美術	日時：5月～12月の内、6回 場所：山口市堂の前町空き家、西田幾多郎住宅、山口市菜香亭、大殿地区周辺など 集客見込：300人	全国各地で地域の人々とともに芸術祭やアートセンターを主催している3名の方をゲストに招き、地域との関わり方やアートセンターの役割や可能性を考える勉強会、フィールドワーク、ワークショップを実施し、地域資源の再発見や再活用を発見する機会を提供する。 また、本事業をきっかけに山口に美術家とともに地域に開かれた実験的な場所と機会が生まれることも目指す。
助産院赤ちゃんのほっぺ 代表 江藤 美知子	第3回 母と子のためのピアノコンサート	音楽	日時：10月7日(日)14:00～15:30 場所：ニューメディアプラザ山口 集客見込：100人	芸術性の高い音楽は心を癒し豊かな感性を育むが、子育て期の母親は演奏会に行くことが難しいという現状から、子ども連れで参加できるコンサートを開催。 コンサートには山口市出身スイス在住のピアニスト、スイス人のハーピスト、山口市在住の箏者が出演し、独奏と三者によるアンサンブルを披露する。西洋の琴(ハープ)と日本の箏の融合は鑑賞者に新たな文化体験を提供する。
劇団 演劇街 代表 柳沢 悟	親子で楽しむ古典劇 第1回「シェイクスピアの世界」	演劇	日時：11月17日(土)14時～、19時～ 11月18日(日)14時～ 会場：演劇研究所lab21 集客見込：200人	設立から27年、舞台作品の企画上演や演劇ワークショップを通じ演劇文化のさらなる普及を目指し活動を続けている。 本事業では、子供から大人まで楽しめるよう工夫した「古典劇」を制作・上演。幅広い世代に演劇の面白さを伝えるだけでなく、家族が一緒に楽しめる場の創出も目指す。